

不死鳥、悲願の日本一

ブリッツェン勢、上位席巻

自転車 全日本TTT

自転車の全日本選手権個人タイムトライアル・ロードレースは27日、静岡県岡原の富士スピードウェイで行われ、男子(39歳)は増田成幸(全都写リツェン)が56分5秒53で初優勝を挙げ、女子(26歳)は与那瀬理(ア・レ・チホリニ)が40分38秒97で5連覇を達成した。

ブリッツェン勢は2位に岡篤志、5位に鈴木謙、8位に小野寺瑛と10位以内に4人が食い込む強さを見せた。女子の2位は1分7秒06差の福田咲絵(慶大)。男子U23では真工高出の石原悠希(インタープロサイクリングアカデミー)が38分19秒27で2位に入った。

全日本自転車競技選手権大会 ロード

第23回 全日本選手権個人タイムトライアル・ロード

2012年日本パシフィック選手権



富士スピードウェイは来年度の東京五輪でも個人タイムトライアルの競技会場となる。
男子エリート(13歳34歳未満) 増田成幸(全都写リツェン) 56分5秒53
岡篤志(慶大) 57分7秒69
小野寺瑛(慶大) 57分47秒84
阿部悠之(同) 59分38秒47
佐川祐太(ホンダ) 1時19分20秒16

宇都宮ブリッツェンの増田成幸が、けがからの復帰レースで悲願の全日本タイトルを獲得。ナショナルチャンピオンシップに抽を通じた35歳は「努力が報われた。神様は見えてくれている」と感無量の表情で喜びに浸った。
39歳の長丁場で起伏もあるコースが脚に合っていた。1周目からハイペースで走ったつもりが「岡篤志より4秒遅い」という清水裕輔監督のナショナルチャンピオンシップを看して表彰台の中央で喜びを表現する増田成幸の姿が、宇都宮ブリッツェンの増田。左は2位の岡篤志、右は山田、小森信道さん撮影

全日本初Vの増田

東京五輪代表選考に関わる5月の国際レースで落車に巻き込まれ、腰椎や骨盤を骨折する重傷を負った。「取れるはずのポイントを失った。ショックに打ちひしがれ、全日本への出場も危なげなりました。苦しいリハビリ

懸命のリハビリ報われる



往善の走りて全日本選手権初タイトルを獲得した宇都宮ブリッツェンの増田=小森信道さん撮影

それでも本人は悔しさをバネに、東京・国立スポーツ科学センターで3週間泊まり込んでリハビリに専念。「現役として、あと1、2年しかチャンスがないと思うと自然と頑張れた。苦しいリハビリ

男子エリートで増田成幸に次ぐ2位に入ったブリッツェンの岡篤志。「長い距離に自信はなかったが、悪い走りで国際レースのツアー・オムニとしてもしっかり走りはなかった。尊敬する人プ・シヤパン個人タイムたい」と引き締めた。

男子エリートで増田成幸に次ぐ2位に入ったブリッツェンの岡篤志。「長い距離に自信はなかったが、悪い走りで国際レースのツアー・オムニとしてもしっかり走りはなかった。尊敬する人プ・シヤパン個人タイムたい」と引き締めた。

男子エリートで増田成幸に次ぐ2位に入ったブリッツェンの岡篤志。「長い距離に自信はなかったが、悪い走りで国際レースのツアー・オムニとしてもしっかり走りはなかった。尊敬する人プ・シヤパン個人タイムたい」と引き締めた。